

つながりがみつかる！

つながりがはじまる！

Twitter★

http://twitter.com/#!/center_i

いちのせき市民活動センター

ニュースレター アイデア

NEWS LETTER IDEA

2012 FEB

Vol.9



いちのせき市民活動センター 陸前高田市支援について

東日本大震災発災から、1年が過ぎようとしていきます。

発災後、私たちの生活環境が一変しました。あの日の記憶は、今でも鮮明に残っていることと思います。私たちは、生きる意味を改めて考え、コミュニティや職場など身近な環境のこを見つめ直した1年ではなかったでしょうか？

いちのせき市民活動センターでは、発災後から陸前高田市支援として避難所を訪問し、避難所のニーズ調査を行ったり、物資を届けたりと支援したい方々と支援を必要としている地域や人をつないできました。また、岩手県内の市民活動支援団体（中間支援）ネットワークを活かし、長期的な視点で沿岸地域の復興を支援する「いわて連携復興センター」を設立し、全国から支援に来ているNPO・NGO、行政と連携し、沿岸各地で後方支援活動を行っています。市内団体の皆様方には、ご協力をいただき、大変、感謝しております。

現在、当センターは、陸前高田市支援団体ネットワーク連絡会に関わっていますので、その様子を紹介させていただきます。（当センターは、ファシリテーターとして連絡会の分科会ファシリテーター、ファシリテーター会議（事務局会議）に参加しています。）

陸前高田市支援団体ネットワーク連絡

会は、陸前高田市などで活動するボランティア団体間の連携を図り、効率的でより良い支援へ結びつけようという趣旨のもと、ボランティアセンターを中心に運営しています。同市内で支援を行う機関・団体は少なくとも80ほどあるとみられますが、他団体の活動内容を知らなかったり、連携が不十分なため、支援が重複・偏向するケースも出ています。人材・物資・資金不足が活動の障害になる例も多いことから、情報共有、支援の共同実施などを推進する機会を提供するものです。

昨年11月に準備会を立ち上げ、12月13日に第1回の連絡会を開催し、その後、2週間に1度の割合で会合を開き、2月現在で、5回の連絡会、5回の事務局会議を行っています。連絡会の主な内容は、話題提供と情報共有です。各団体や仮設住宅自治会の関係者らが集まり、困っていることや支援を求むこと、支援できることなどを、分科会形式で行い、地域住民の声を聴きながら、横の連携、支援の連携を膨らませていきます。必要とされる支援は多様化し、地域の共通課題や、具体的に誰がどう困っているのかを見つけ、協働によって解決する仕組みを作っていくかなければなりません。これまでの連絡会では、住環境・物資、子ども・教育、サロン・イベントと3つのテーマ分科会を開催し、いずれの

会でもキーワードとして、「持続発展的な活動」が挙げられ、一過性のにぎやかではなく、生活基盤の回復を長期にわたって支えられる活動が求められているという点で一致し、また、団体間の連携不足や、市民へのインフォメーション方法など、情報共有面での課題をいかにクリアするかも話題に上り、「活動内容の“メニュー表”を作る」「支援相談員や保健師など、住民と直接やりとりのある人に協力をお願いする」といった案が出され、様々なアクションが起り始めています。

連絡会に終わりはありません。継続した話し合いの中から、支援団体と住民が交わりを持ち、それぞれが自走する活動に発展する為に引き続き支援を行って参ります。



毎回の連絡会には80名以上の人が集まります。自治会長さんや支援団体との交流会も開催しました。



第4回連絡会

分科会の進め方の共有です。



第3回連絡会

仮設自治会長さんから生活の近況を伺いました。



第2回連絡会

陸前高田市の復興計画案を聴きました。

2

センターのやっていること

いちのせき市民活動センター陸前高田支援について

4

センターのやっていること

紙生里の会地域づくり計画のお手伝い／油麩井で地域おこし

5

未来塾

第五回全国わんこもち大会

6

NPO 法人響生（ひびき）

イオンスーパーセンター 一関店の社員さんと
リトル・ピースのこどもたちとのもちつき大会

7

3月のイベント・ボランティア情報

せんまやひなまつり／パカポコクラブ／NPO 法人ワークハウス雲
NPO 法人全国地域学習振興会／NPO 法人はずみの里

8

勝手に紹介★地域のあれこれ

～地酒ケーキ編～



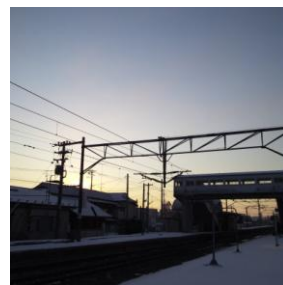
いちのせき市民活動センター情報誌 idea

いちのせき市民活動センター情報誌「idea」は、NPO・行政・企業の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。



ロゴマーク

「一関・川崎・千厩・大東・花泉・東山・藤沢・室根」の
8つの地域と1つのひろばを表しています。



JR 東日本の東北本線で北へ向かうと、「JR 花泉駅」に到着します。世界遺産登録にちなんだフリーパスは、この花泉駅から利用可能。旅好きにとっては見逃せないスポットです。

一関市内の NPO 法人

一関市内で27法人が活動中です。

- 1 藤沢町ボランティアセンター
- 2 北上川流域河川生態系保全協会
- 3 ケアセンターいこい
- 4 須川の自然を考える会
- 5 レスパイトハウス・ハンズ
- 6 一関文化会議所
- 7 一関ケアセンター
- 8 ワークハウス雲
- 9 里山自然学校 はずみの里
- 10 全国地域学習振興会
- 11 北上川サポート協会
- 12 グリーンハート
- 13 いわい地域支援センター
- 14 アートで明るく生きるかわさき
- 15 障害者への偏見と差別をなくす会
- 16 サン・スマイル
- 17 ねこの手クラブ
- 18 いわてコミュニティファンド
- 19 千厩まちかどケアセンター
- 20 いわて発達生涯サポートセンターええ町づくり隊
- 21 いちのせき子育てネット
- 22 わかば会
- 23 防災サポートいちのせき
- 24 とーばんふうどくらぶ
- 25 生涯支援センター岩手 日向ぼっこ
- 26 あゆみ
- 27 子育て支援いっすね
- 28 ファンスポルト一関(審査中)

いちのせき市民活動センター

〒021-0881
岩手県一関市大町 4-29
Tel&fax:0191-26-6400
Mail:center-i@tempo.ocn.ne.jp

せんまやサテライト

〒029-0803
岩手県一関市千厩町千厩字町 149
Tel:0191-48-3735 Fax:48-3736
HP:center-i.jimdo.com

結果発表

〈団体戦〉	優勝 伊藤家かいじゅう兄弟……………	99
二位 チームKAWASOKI……………	96	
三位 なんでも企画ほか……………	84	
個人優勝 竹田宏國……………	83	
〈女性個人戦〉		
岩淵恒美さん……………	27	
〈特別賞〉		
一関市長杯 三春町商工会青年部……………	27	
サポーター賞 もちQ姉妹……………	34	
三春賞 バノアップルズ……………	64	

岩手一関 第五回

全国わんこもち大会



安全と無事を願って行われる神事



多くのサポーターがかけつけました。



試食をするふじポンと一関市長



すてきなコスチュームの選手たち

「一関って、こんなにホッとしたっけ？」

未来塾のメンバーからは思わずこんな言葉が。今年で5回目となるわんこもち大会では、会場に集まった人たちから、選手を励ます熱いコールが自然に沸き起こりました。運営は若者によるまちづくり団体「未来塾」によって行われ、出場した選手たちは「ずんだ」「あんこ」「しょうゆ」の三種類のおもちを五分間でいかに多く食べるかを競い合いました。

一関地方に伝わるもちの種類は三百種類といわれ、独特の食文化を全国にユニークに発信しようと企画されたのが「全国わんこもち大会」をはじめたきっかけ。

歴代の記録はチームで122杯、個人で74杯。この世界記録を抜く人は現れるのでしょうか。

当日は一関市長とふじポンがゲストとして参加。会場を盛り上げてくれました。

NPO 法人 響生(ひびき)

1月16日、一関市千厩町にある「NPO法人響生」に、イオンの職員の方々と響生の子どもたちとの声が響き渡りました。

学校帰りの中学生を交え、スタッフや保護者の方に見守られながら、臼と杵で真っ白なおもちに力強く杵を振りおろします。「おもちつき大会」の開始です。

イオンで2001年から開始した「黄色いレシートキャンペーン」。レジで精算時に渡される黄色いレシートを、地域のボランティア団体名が書かれた店内備え付けのBOXへ投入し、レシートの金額合計の1%をそれぞれの団体に還元する「黄色いレシートキャンペーン」にNPO法人響生が参加して生まれたつながりがこのイベントのきっかけ。

12月のリトルクリスマス会にはツリーの飾り付けとケーキづくりを、2月にはバレンタインにちなんだチヨコレートづくりも開催。一緒に何かをする事で、自然な形での交流の場を創出しています。



元気いっぱいの子供達は、私たちを教室からホールまで案内してくれました。ホールへ行き、ぬいぐるみやボールを使って一緒に遊び、沢山の笑顔に触れることが出来ました。待ちに待ったおもちつきは、子供達みんなが順番に杵を持ち、一生懸命におもちをついていました。頑張っておもちをついた後は、おもちでお食事会。みんなで頑張ってついたおもちの味は、別格だったに違いありません。おもちを頬張るたびにこぼれる笑顔と笑い声。見たり聞いたりしているだけで、なんだか元気が湧いてきました！これからの活動にも注目したいです。
(岩淵)



紙生里の会地域づくり計画のお手伝い

一関市東山町には、和紙の里があります。その地名は、紙生里（かみあがり）。まさに、紙が生まれた里です。

紙生里地域は、平泉の東の東稲山東側山腹の中山間地域の2自治会、世帯数94戸の小さな地域です。畜産と施設園芸が小規模に点在し、中山間地域のため棚田が多いなど、地形土壌が複雑なため有効な活用が進んでいません。しかし、地域内には、大工・建具師が多く木材加工技術もあり、地域資源は豊富です。何より地域の人々には、和紙の里に誇りを持ち、平成18年から3年間、紙生里地名探求事業で、資料を収集し、地名の裏付けをし、紙すきも再現するなど和紙関連事業に取り組んでいます。紙生里の和紙は、奥州藤原氏も使ったとか。

そんな地域資源豊かな紙生里地域において、次年度より行う地域づくり事業の5カ年計画作成のお手伝いを、11月からさせていただきました。



紙生里の会のミーティング風景です。

地域づくりテーマは、「山と水を活かす紙生里」。和紙の一貫生産体制を整備し、和紙の加工工程での水車による水力利用技術の復活を目指し、山菜の栽培技術を取得し、栽培から加工・販売まで行うものです。夢は大きく和紙を皇居に届けたい！日本に紙生里の和紙を広める！地域の人たちは、たくさん夢を語りながら、5年後の姿を想像していました。発言が活発だったので、ただただ、発言を記録するだけだったな〜と思っています。春からの取り組みが楽しみです。そして、5年後には、和紙の安定した生産が開始され、紙生里にコミュニティビジネスの拠点が整備されていることでしょう。

地域おこし事業&元気な地域づくり事業 実践発表会

あぶら どんぶり 油麩 丼 で地域おこし

一関市地域おこし事業発表会は、平成24年1月28日（土）に一関市川崎町の川崎公民館で開催されました。

一関市地域おこし事業は、市民が自発的に行うソフト事業を支援するもので、事業発表会は、1年間の事業の取り組みとその成果報告を行うものです。

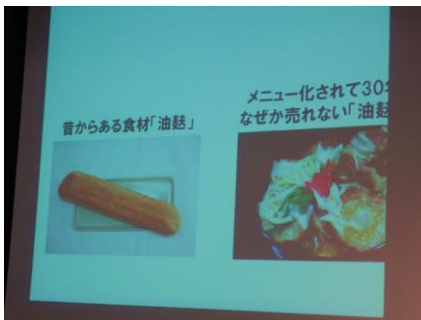
― 成果発表の前に学びを―

B級グルメとして一躍有名になった登米市の油麩丼の会（会長 海老名康和さん）の事例紹介。

地元の宮城県登米市にて、古くから食されている油麩を使用して何とか地域おこしをできないだろうか、活動を始めました。油麩丼が全国に広まったのは、わずか3年前のこと。たくさん人のつながりが、このスピード感を生みだしたそうです。

人とのつながりがムーブメントを起こす。要するに地元では当たり前過ぎて珍しくないものを、外に発信し、外から注目されることにより地元の人たちが気付いたのです。今では油麩丼の経済効果は3億円と地域おこしが地元の経済活動を動かすようになっていきます。会には、飲食店メンバーの集まりではないので、油麩丼を売るのではなく、登米市に来てもらうことが目的。当事者目線ではなく、第3者目線も大切ですね。

一関の活動事例発表では、「一関青年会議所」、「一杯清水を守る会」、「松川公民館」、「川崎支所産業経済課」の4団体が発表をしました。



昔からある食材「油麩」に注目！



講演を聞きに集まった皆さん



「油麩丼の会」会長 海老名康和さん

せんまやひなまつり

今年第5回目の「せんまやひなまつり」今回は「震災復興祈願」をテーマに、2月11日～3月4日まで千厩酒のくら交流施設と千厩商店街を会場に催。大正ロマン漂う「酒のくら」には様々なお雛様とつるし雛が展示され、見る人を楽しませています。

千厩では「せんまや夜市」が有名ですが、冬に何かイベントをしたいという思いが集まり、せんまやひなまつりに発展していき、中でも明治時代から現代までのお雛様飾りや、「つるし雛」は色々な生地を使った創作雛なので、同じ形の物はなく、千厩町の皆さんが独自に進化させています。

今年をつるし雛には「鶴」も一緒に飾られていて、東日本大震災で被害にあった方々への「震災への復興を祈願」という思いを込めて蔵サポーターの会の方々が中心になって呼びかけ「鶴」をつるす事に決めたそうです。千厩の冬のイベントとして定着した「せんまやひなまつり」に脚を運んでみてはいかがでしょうか？



3月のイベント情報

center-i.jimdo.com

1

パカポクラブでは、3月25日(日)10時から12時まで、佐々木牧場(金沢字有壁13-1)にて、しょうがいを持った子どもたちが馬とふれあえる「しょうがい者乗馬会」を開催します。申し込みが必要で、当日1000円を持参して下さい。ボランティアの方は無料です。☎0191-82-5584

2

NPO法人ワークハウス雲では、宅配弁当ボランティアを募集しています。火・金曜の10時から13時ぐらいまで、同法人が運営する東山町の「雲の弁当屋」(長坂字町303)から町内へお弁当を配達します。エプロン・かっぽう着が必要です。交通費が支給されます。☎0191-47-3335/090-7073-4985

3

NPO法人全国地域学習振興会では、お子さんを対象に、小野寺塾指導ネットワーク(一関市宮下町5-23)にて、そろばん学習の基本を学べる、体験学習会を開催します。参加希望者は電話で申し込みをしてください。平日の16時から17時まで、料金は無料です。☎0191-23-5806

4

NPO法人はずみの里では、キノコが持つ役割を学びながら「ムキタケ」の植菌をする「キノコの植菌体験」を行います。日時は3月10日(土)9時30分から12時で、軍手、飲み物、帽子が必要です。参加費は200円で、3月7日までに申込が必要です。☎0191-82-3857

勝手に紹介★ ★地域の ずれ！これ！

こんにちは！いわぶちです！

なかなか寒さが緩まない今日この頃、皆さんはどのようにお過ごしでしょうか？

私は寒さのあまり、外に出るのが億劫でしょうがありません！（笑）

ただ、こんなかばねやみでも、おいしいものがあると聞けば、必ず赴く位の精神はございます！食い意地とも言う！！（笑）

と、言うわけで、今回私が足を運んだお店は千厩町の旭町にある「しばた菓子店」本店です。

今回は清酒好き必見の「地酒ケーキ」をご紹介します！

きっと、もうご存知の方もいらっしゃるのかもしれませんが、地酒ケーキは、千厩の銘酒「玉の春」をたっぷり使用した贅沢なスポンジケーキなのです！

表面には金粉が添えてあり、風格のある逸品。私も大好きです！！もちろん清酒も大好きです！！（笑）

玉の春の甘口な風味が、優しく口の中や鼻を通ります。スポンジは主にメレンゲで作られていて、ともキメが細かく、舌触りもふわっふわ♪

甘さはかなり控えめで、飽きることなく米麴の薫りを楽しめます。贈答用に用いられるのも納得！！

皆さんも、是非、この上品な味を堪能してみてください！！

（※この商品のお値段はひとつ130円。定休日は毎週火曜日です。）



Point1 閉店のお知らせ

誠に勝手ながら、「Point1」は平成24年2月をもちまして閉店いたします。閉店に伴い、これまで行っていた貸室支援、カフェの販売等は終了となります。長い間ありがとうございました。

